

えびの

ボランティア
センターだより

第21号

2023年7月20日

みやざきボランティア体験月間 2023

「困りごととお助け隊」

宮崎県では7月～9月をボランティア体験月間と位置づけ、県内各地で様々なボランティア体験が行われます。えびの市では、市内の中学生が3～4名のグループに別れて、依頼のあった高齢者宅に伺い、草取りや窓ふきなどを行う「困りごととお助け隊」を今年も実施します。

高齢者の方で中学生ボランティアを希望される方は、ボランティアセンターにお問合せ下さい。電話35-2800

《令和5年度は下記の日程で開催します》

加久藤中学校
7月28日

真幸中学校
7月31日

上江中学校
8月2日

飯野中学校
8月9日





湯田おたすけ隊発足式

令和5年3月16日

生活支援ボランティア) 湯田自治会 名称:「湯田おたすけ隊」

代表者)南鶴 朗 様より一言・・・・・・・・・・・・・・・・

湯田地区は、170人程の人口のうち、65歳以上が57%で、市内の高齢化率よりその割合は高くなっています。今後その割合は高くなっていくものと考えられ、厳しい現実を受け止めなければならないと思います。このような実態を踏まえ、本年2月社会福祉協議会から「地域で助け合える仕組みを作る」という提案を受け、地区内でメンバーを募った結果、本活動の趣旨に賛同した有志13名で、本年3月16日「湯田おたすけ隊」を発足しました。

おたすけ隊のメンバーも決して若いとは言えません。

活動は庭の草取りやごみステーションへのゴミ出しなどです。地味な活動ではありますが、「いくつになっても、住み慣れた地域で生活し続けたい。」という気持ちを後押しすることはできるはず!

そんな思いでメンバー一同取り組んでいます。



高齢化は進んでも元気な高齢者が多いのもえびのの特徴です。助け合い活動は「できる人が、できる時に、できる事を」続ける仕組みにしていくことが大切です。そして、その活動は必ず、自分たちも支援を受ける時がくる、そのことを地域の若い世代に繋いでいけるようにすることが、次世代に繋ぐ地域づくりにつながります。

助け合い活動の仕組み、居場所づくりに興味のある自治会、また、助けあい・支え合い活動について、まずは話を聞きたい自治会は、住民座談会を開催しますので、ぜひ、社会福祉協議会までご連絡ください。

地域の助け合い・支え合いの場を地域住民の活躍の場にしませんか?



有償ボランティア「小さな幸せ応援団」の紹介

令和元年10月に発足した有償ボランティア「小さな幸せ応援団」は、新型コロナウイルス流行期間も、相談が途絶えることもなく、4年目の活動を続けています。登録団員は27名。年間200件程の依頼を受け、基本2名以上で1時間程度の草取りやゴミ捨て、室内掃除など行っています。

団員は、それぞれ、仕事をされている方や、趣味活動、役職をお持ちの方、その他のボランティア活動をされている方等、多才なメンバーの集まりです。活動により団員の皆さんが感じていることは、「自分の小さな手助けで、相手の方に笑顔を届けられる、そして、自分自身も幸せな気持ちになれる」ということ。

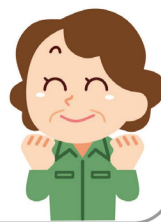
作業依頼者からの一言！

「昨年庭の草取り、草刈りをお願いしています。足腰が悪く、身体が不自由で、近くに身寄りのない私にとってとてもありがたいです。気持ちよく作業してもらっています。」



団員さんからの一言！

「家で何もせず過ごす日よりも、自分の空き時間を使って誰かのために少しでも役立つことがあれば、自分も元気をもらいます。この活動に参加するようになり、生活にメリハリもできて、とても楽しいです。」



自分の空き時間で、自分ができる手助けをしてみたい方、また、この団体で活動してみたい方、社会福祉協議会までご連絡ください！

普段のふだんの暮らしの幸せ

真幸中学校1年生の車いす・高齢者疑似体験を実施しました



6/2 真幸中学校1年生による福祉体験を行いました。車いす体験では、車いすの正しい操作方法について学んでいただき、車いすを使った介助体験などを行いました。また高齢者疑似体験では、身体機能の低下を疑似的に体験してみる事で、高齢者の方の気持ちを理解し、どんな手助けが必要なのかを学んでいただきました。今回の体験を機に、自分から「何かお困りですか?」「お手伝いしましょうか?」などの優しい声掛けが出来る思いやりのある人になってもらいたいと思います。



第2回傾聴ボランティア養成講座「上手な話の聴き方」研修会(中級編)を実施しました



6/14 第2回傾聴ボランティア養成講座「上手な話の聴き方」研修会(中級編)を行いました。研修会では、相手を尊重し、反論や否定をしない「受容」と「共感」の基本や「うなずき」や「あいづち」など傾聴に必要な技法を参加者同士でロールプレイを行いながら体験していただきました。今後、傾聴ボランティアとしての活動が期待されます。

次回、初級編を令和6年3月に予定しております。興味のある方は是非ご参加ください。



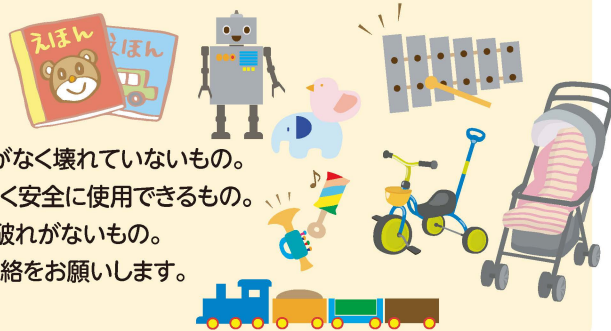
こども服・おもちゃ・育児用品などをご提供ください!

ご家庭で不要になった“こども服・おもちゃ・育児用品”などを欲しい方にお譲りするリユースイベント「お譲り会」を計画中です。「捨てるにはもったいない!誰か必要な方に使ってほしい!」など無料でご寄付いただける方がいらっしゃいましたら、えびの市ボランティアセンター(えびの市社会福祉協議会)にお持ち寄り下さい。



持込についてのお願い

- こども服・・・目立つ汚れがなく、まだまだ使えるもの。
- おもちゃ・・・比較的新しいもので、目立つキズや汚れがなく壊れていないもの。
- 育児用品・・・比較的新しいもので、部品等に不足が無く安全に使用できるもの。
- 絵本・・・未就学児を対象としたもので、落書きや破れがないもの。
- その他・・・上記以外については、持込前に一度ご連絡をお願いします。



(令和5年度の行事予定)

月	行事名 (予定日)
	カレーの日(7/29)イベント実施
7月	夏ボラ 2023“お年寄りの”[困りごとお助け隊] 加久藤地区(7/28)真幸地区(7/31)上江地区(8/2)飯野地区(8/9)
	カレーの日 8/26
8月	暮らしねっとサポーター養成研修(8/21)(8/23)(8/28) 県下一斉ボランティアの日 清掃活動(8/20)
9月	カレーの日(9/30) ファミリーサポートセンター)おたすけ会員養成講座(9/20)(9/21)
10月	カレーの日(10/28)
11月	カレーの日(11/25)
12月	カレーの日(12/23) 歳末たすけあい街頭募金(12月中旬予定)
1月	カレーの日(1/27)
2月	暮らしねっとサポーター養成研修(2月中旬予定)
3月	カレーの日(3/2) 第3回傾聴ボランティア養成講座初級編(3/6)(3/13)

ボランティア募集中!



カレーの日(こども食堂)運営ボランティアを募集しています。

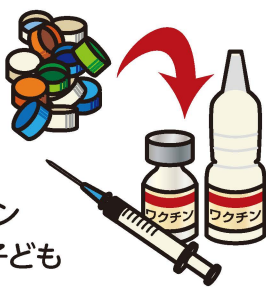
活動は月1回で、活動内容は、調理・配達・会場運営などです。

興味のある方は、是非ボランティア登録をよろしくお願いします。

—— お申し込み先 ——
えびの市ボランティアセンター
電話 35-2800

収集ボランティア活動報告

令和4年11月~令和5年5月までに290キロ(約159,500個)のエコキャップが集まりました。集まったエコキャップはリサイクル業者を通じて「世界の子供にワクチンを日本委員会」へ寄付させていただきました。今回の寄付金で約43人分のポリオワクチンを購入する事が出来るそうです。ワクチンは開発途上国の子どもたちに贈られ、子どもたちの未来を守る活動に役立てられます。



LINE 公式アカウントはじめました

1 友だち追加方法
【友だち追加】>【QRコード】より



2 友だち追加方法
【友だち追加】>【ID検索】より

@518itloh と入力。



ボランティアセンターからの情報をお届けします。是非ご登録ください!
えびの市ボランティアセンター(えびの市社会福祉協議会)
電話 35-2800 / FAX 35-1983